

1 単元名 宿泊新聞のトップ記事を完成させよう

教材名「新聞記事を読み比べよう」（東京書籍5年上）

2 付けたい力 書き手の意図を的確に読む力（C 読むこと イ 説明的な文章の解釈）

3 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として、「宿泊新聞のトップ記事と写真にぴったりの見出しを書く」ことを位置付けた。新聞記事の見出しは、記事の中心となる内容、つまり、書き手が読者に伝えたいことが短い言葉に凝縮されたものである。したがって、本単元で付けたい力である「書き手の意図を的確に読む力」を養うためにふさわしい言語活動であると考えた。

4 単元について

(1) 児童観（在籍*人）

<実態調査>前教材「動物の体と気候」の学習より

項目	十分達成	努力を要する
①文章を読んで、その要旨をまとめることができる。	*人	*人
②事実と意見を読み分けることができる。	*人	*人
③文章の叙述を根拠にして、自分の考えをもつことができる。	*人	*人

5学年5月に学習した説明的文章教材である「動物の体と気候」では、筆者が何について述べようとしているのかをとらえるために、文章の構成を考えながら、要旨を読み取る力の育成をねらいとした。そのために、段落に見られるキーワードを使ってまとめた自分の考えを、友達と交流し、さらに自分の考えを深める言語活動を行った。

この学習を通して、文章の要旨をとらえる力や事実と意見を読み分ける力が身に付いてきた。しかし、叙述されている内容を根拠にして自分の考えを吟味しなかったり、思いつきで考えを付加していたりする児童が見られた。本単元を通して、書き手の意図を的確に読む力を育てるとともに、叙述を根拠にししながら自分の考えを明確にもつ力も育てていきたい。

(2) 教材観

本単元は、学習指導要領の第5学年及び第6学年の「C 読むこと」の指導事項イ「目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。」、及びウ「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりにすること。」と関連している。

本教材は、「書き手の意図を考えながら新聞を読むこと」をねらいとしている。教科書に取り上げられているA社とB社の新聞記事が、児童の目を引きつける。二つの記事は共に多摩川のアユの遡上に関する記事だが、取り上げられた写真や記事、リードの違いから、記者のものの見方や考えを読み取ることができ、書き手の意図が異なることが分かる。二つの記事を「読み比べる」という学習を行うことにより、共通点と相違点に注目しながら、見出し、リード、本文、写真を関係付けて、書き手の意図を的確に読もうとすることができ、本単元で付けたい力を養うために最適な教材であると考えた。

(3) 指導観

本単元では、多摩川のアユの新聞記事を読み比べる学習で習得した力を、自分たちの宿泊新聞の写真と記事にぴったり合う見出しを書く、という言語活動で活用する単元の構成を考えた。

第1次では、宿泊学習で楽しかったことやみんなが輝いていたことを発表し合い、「宿泊新聞を作って4年生に楽しさを伝えよう。」という目的意識と相手意識をはっきりもたせる。そうすることで、学習への意欲を十分に高めたい。単元を貫く言語活動である「宿泊新聞のトップ記事の見出しづくり」を設定し、読む人の目を引き付ける「見出し」の在り方について考える。

第2次では、多摩川のアユの新聞記事を読み比べる学習を通して、書き手の意図が違っても同じ事柄を扱った新聞記事でも内容が大きく異なることを読み取る。同じ事実でありながら、取り上げる事柄が違ったり、写真が違ったりするのはなぜか。読み手として同じ出来事を書いた記事を対比させ、読み比べることで、書き手の意図によって、表現方法や掲載する写真・資料が違ってくことに気付かせる。そして、それが見出しの言葉に表れてくることも押さえる。

第3次では、第1次、第2次の学習をもとに、文章の構成の効果、表現の効果に加え、資料の効果を考え、宿泊新聞のトップ記事の見出しを書く。その際、自分の考えを生かすために写真を取捨選択し、記事の内容を考えていく。自分の選んだ写真と見出しが適切かどうかや、見出しに使った言葉は適切かどうかなど、友達と交流する時間を設ける。考えを交流することで、自分の考えを深め、そのことを宿泊新聞のトップ記事の見出しに生かし、新聞を完成させる。出来上がった新聞を読み合い、書き手の意図は伝わるか、写真と本文、見出しの整合性はどうかなどの観点を意識して交流をすることで、「書き手の意図を的確に読む力」が身に付いたことを確かめ合いたい。

単元の終わりには、4年生を実際に新聞展に招く。興味をもって読んでくれている様子に触れたり、読んだ感想を聞かせてもらったりする交流の機会を設けることで、自分の学習が誰かのために生かされたという実感を味わい、今後の学習意欲へとつなげていきたい。

5 単元の見出し

- 新聞記事には意図があることを理解し、進んで書き手の意図を読み取ろうとしている。
(関心・意欲・態度)
- 新聞記事の特徴を押さえながら、見出し、リード、本文、写真を関係付けて、書き手の意図を読み取ることができる。
(読むこと)
- 書き手の意図を捉えるために、比較する視点を明確にして、二つの文章を読み比べることができる。
(読むこと)
- 文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・新聞記事の構成をつかみ、見出し、リード、本文、写真を関係付けながら、書き手の意図を読み取ろうとしている。	・新聞記事の特徴を押さえながら見出し、リード、本文、写真を関係付けて、書き手の意図を的確に読み取っている。	・新聞記事の構成について理解している。

7 単元の指導計画（9時間扱い）本時は7時間目

第1次 4年生の興味を引き立てる「宿泊新聞」を発行しようという目的をもち、単元の学習計画を立てる。・・・1時間

第2次 教材「新聞記事を読み比べよう」を読み、新聞の構成や、見出し、記事と写真の関係について読み取り、書き手の意図を読む。・・・3時間

第3次

時	主な学習活動	主な評価
1	複数の宿泊学習の写真から、自分がトップ記事にしたい内容に合った写真を選び、記事を書く。	・トップ記事にしたいと決めた事柄について、回想したり、どのように工夫すれば、伝えたいことが相手に伝わるかを考えている。 (読む能力)
2	自分の新聞記事の見出しと友達の新聞記事の見出しを考える。	・読み取った書き手の意図を生かして見出しに表現している。 (読むこと)
③ 本時	考えた見出しについて友達と交流し、考えを深めた上で見出しを決める。	・友達との交流を通して、自分の記事と写真に合った見出しを考えている。 (読む能力)
4	宿泊学習新聞を完成させ、学級で読み合う。	・友達のトップ記事の写真、記事、見出しから友達の意図を読み取ろうとしている。
5	「宿泊学習新聞展」を開き4年生に紹介する。	(関心・意欲・態度)

8 本時の学習

(1) 目標

友達との交流を通して、トップ記事の写真と記事の内容に合った見出しを考えることができる。

(2) 準備・資料

写真、ワークシート、新聞、実物投影機

(3)展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div data-bbox="183 235 762 362" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>見る人が「おっ！」と目をうばわれ、「あっ！」と内容が分かる、トップ記事の見出しを付けよう！</p></div> <p>2 友達と見出しを交流し合う。 【交流タイム】</p> <div data-bbox="183 555 762 1131" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>【読み手から】</p><ul style="list-style-type: none">私は〇〇さんの記事の～というところから、△△と見出しをつけたよ。私は〇〇さんの選んだ写真から～と感じたので、★★と見出しをつけてみたよ。<p>【書き手】</p><ul style="list-style-type: none">私はこの記事で～なところを訴えたかったので、□□と見出しをつけました。<p>【交流】</p><ul style="list-style-type: none">もし私（書き手）の見出しをパワーアップさせるとしたら、どうなるかな？私は〇〇さんが～に力を入れているのがわかったので、◇◇はどう？〇〇さんの考えた☆☆という言葉を■ ■と変えるのはどう？</div>	<ul style="list-style-type: none">・宿泊新聞の中心記事の見出しは、写真と記事にぴったり合っている必要があることを伝える。・見ただけで「あっ！」と内容が分かること、さらに「おっ！」と興味をひきつける表現の工夫をした見出しを伝えるという目的をはっきりさせ、意欲を高めるようにする。・前時までに友達と自分の新聞の記事と写真の見出しを考え、見出しカードに記しておく。・自分の考えがうまく伝えられない児童には、教師から質問をし、言葉を引き出す。そして自分の考えを友達に伝えられるようにする。・友達の考えた見出しと記事について交流し合い、意見を交換する時、写真と記事をしっかりと提示しながら、考えた見出しとその根拠を説明するように指示する。・友達の記事の意図が読み取れているかを明確にするために、矢印や線などで記すよう助言し、視覚的にも分かるようにする。
<p>3 自分を見出しを再構築する。 【自分タイム】</p> <div data-bbox="183 1265 762 1541" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none">・見出しでは、〇〇さんが使っていた〇〇という言葉を使ってみよう。・見出しでは、友達に△△という意見をもらったけれど、自分の考えた見出しを使っていこう。・私が考えた見出しの☆☆という言葉も◇◇という言葉に変えよう。</div>	<ul style="list-style-type: none">・交流タイムで出された意見や友達からもらった見出しカードを参考に、自分を見出しを決定するよう助言する。・自分の考えを強く伝える上で、見出しと記事、写真が合っているか確認するようにする。・見出しが変容しなくても良いことを伝え、決定した見出しであることが分かるようワークシートの決定欄に書くよう指示する。 <p>(評) 友達との交流を通して、自分の記事と写真に合った見出しを考えている。</p> <p>【読む能力（見出しカード）】</p>
<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <div data-bbox="183 1684 762 2027" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"><p>【発表者】</p><p>(私は～と見出しをつけました。今回の交流タイムによって・・・)</p><ul style="list-style-type: none">・友達と交流したことで、自分の見出しをパワーアップさせることができよかった。・自分では考えもつかない言葉が友達から出てきたので、参考になった。・自分の意見を友達が良いと言ってくれたので、自信になった。</div>	<ul style="list-style-type: none">・友達との交流によって、自分の見出しの変容や広がりを見せた児童、自分のつけた見出しの根拠をはっきりさせられた児童、交流タイムを有効に活用することができた児童の考えを取り上げるようにする。・どのような見出しになったのかが全体に分かるように、ワークシートを実物投影機に映しながら説明するように準備しておく。・次時は、宿泊新聞のトップ記事を完成させることを知らせ、意欲をつなげていけるようにする。